

2. 教育システムの概要

2.1 近代的教育システム

ブータンでの教育は、1950年代までは主に僧院で行われた。僧院は唯一の正式な文字読書き教育の場であり、多くの著名なブータンの学者が仏教の経典を研究するためにチベットに旅行した。ブータンの学生が利用できる唯一の正式な教育の場は、(1913年/1914年に設立されたハーとブムタンにある私立学校を除いては) 仏教の僧院であった。僧院に加え、尼僧院の数も増え、それらは伝統的な僧院教育を提供し続けている。

今日、ブータンの教育制度には、一般教育、僧院教育、非正規教育の3つの主要な形態がある。一般教育システムはこれまでで最も大きく、現在では一般的な正式な教育構造と見なされている。現在の正式な教育システムは、1961年の最初の5か年計画（FYP）から拡大され、基本的な教育ニーズに対応し、国の社会経済開発に必要な人材を育成している。

さらに、ゾンカ語と英語の基礎およびポスト・リテラシー・コースは、一般教育または修道院の教育に参加できなかった人々のための非正規教育プログラムを通じて提供される。2006年から、教育省は、成人向けの継続教育プログラムを開始して、学業資格を向上させ、生涯学習を促進している。

約60年の間に、近代的な教育システムは1961年以前の約11校から2019年には1007校に拡大し、幼児教育から技術教育、職業教育、高等教育にまで及んでいる。図2.1は、過去約60年間の学校と教育機関の総数の漸進的な増加を示している。

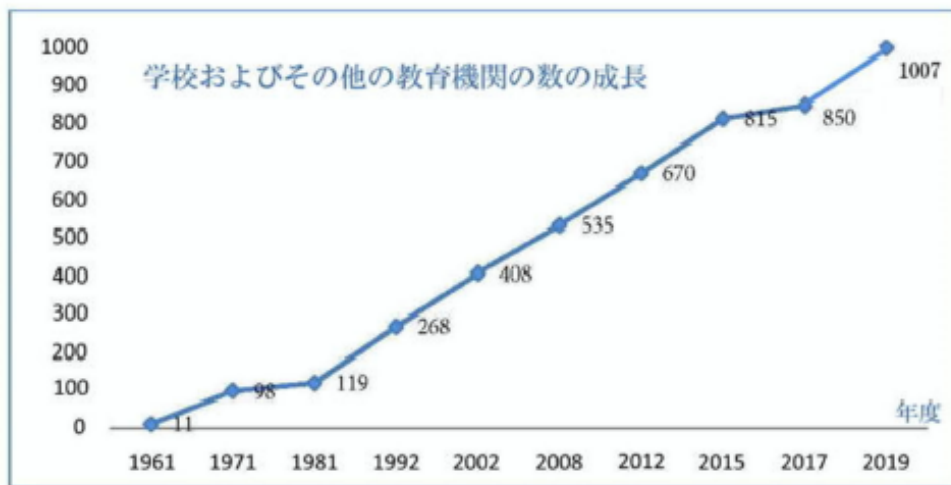


図 2.1 過去約60年間の学校および教育機関の総数の変化

教育制度の拡大は、学生の就学率の急増によって引き起こされてきた。図2.2は、1961年から2019年までの過去60年間の学校教育への入学者数の伸びを示している。1960年代初期の約400人の学生から、国内のすべての正式な教育機関および高等教育機関での総入学者数は、2019年5月の時点で195424人（ブータン国外で勉強している学生を除く）に増加している。図2.2に示す入学者数の傾向として、2019年からクラスXに合格したすべての学生がクラスXIに登録したことにより、2019年の登録数が前年より増加している。



図 2.2 過去 60 年間の年度毎の国内学校教育への入学者数

2.2 一般教育の構造

ブータンの学校における教育構造は、PP クラス (学年) から X クラス (学年) までの 11 年間の無料の基礎教育で構成されている。2019 年から、政府の主導により、クラス X に合格したすべての学生に、公立と私立の学校で、クラス XI の教育を追求するための奨学金が提支給される。これにより、一般的な教育構造は、7 年間の初等教育 (PP-VI) と 6 年間の中等教育 (VII-XII) で構成される。初等教育の最初に登録される正しい年齢は 6 歳である。

クラス XII を完了した後、学生はディプロマまたは学士の学位を取得するために国内の高等教育機関で勉学を続けるか、または就職市場に参入する。公立の高等教育機関の資格を取得していない学生は、政府の奨学金に依るか、自己資金によって、国内または海外の私立高等教育機関に入学する。政府はまた、限られた数の特別な専門分野の人材の必要性を満たすための高等教育のために、前政府から引き継いだ奨学資金を提供している。技術訓練専門学校の卒業生は、自分の能力と興味に基づいて、高等教育レベルで教育を続けることができる。

クラス (学年)	幼児期ケア & 発達 (ECCD)	P-P	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年
ISCED	0	1							2				3	5				
教育機関	ECCD センター	初等教育 (6 - 12 歳)							中等教育 (13 - 18 歳)					高等教育 (19 - 23 歳)				
		小学校							前期 中等学校	中期 中等学校	後期 中等学校	学部コース						
										継続教育								
									非正規教育センター									
									職業教育システム (TTI/IZC)[ISCED 3-4]					労働市場				

図 2.3 一般教育の構造

2.3 一般学校教育における教育レベルの分類

初等教育レベルでは、小学校は就学前（クラス PP）からクラス VI までの 7 年間の教育を提供し、拡張教室（ECR）はクラス PP からクラス III までの 4 年間の教育を、いくつかの小規模な学校で複数学年の教育を提供する。拡張教室は、遠隔地で、集落が点在するところであり、最寄りの学校から生み出された教室である。幼い子供たちの通学のための歩行距離を短縮するために、学校を地域社会に近づけるために作られた。

中等教育レベルでは、学校レベルは、教える学校の最終学年によって分類される。前期中等学校（Lower Secondary School）は、その最終学年がクラス VIII である中等学校である。中期中等学校（Middle Secondary School）と後期中等学校（Higher Secondary School, 高等学校）は、最終クラスがそれぞれクラス X とクラス XII の中等学校である。現実の中等学校における生徒の入学学年として、PP、VII、IX、または XI のクラスがあり得る。

2.4 一般教育カリキュラムと評価

学校教育の全体的な目的は、国民のニーズと新たな世界的傾向に対応できるように、豊富な知識と技能があり、創造性豊かで、革新的で進取的な市民になるために、国民を育むことである。初等レベルでは、基本的な識字能力と計算能力、わが国の、歴史、地理、文化、伝統に関する知識、および農業、健康と衛生、人口教育の基礎などを学ぶ。道徳と価値の教育は、活動ベースの学習を取入れながら、特別な注意が払われている。

クラスIXでは、学生は経済学、経営学、コンピューター・アプリケーションのいずれかを選択できるが、後期中等教育では、芸術、商業、リクズン(伝統的文化)、科学のいずれかを主専攻として選択する必要がある。2011年から、技術訓練専門学校の近くにある5つの学校においても、クラスIXおよびXの選択科目として、職業技能訓練(TVET)を提供している。

クラス-PPからクラス-XIIまでの評価には、継続的形成評価、継続的総括評価、期末総合試験がある。ブータン学校評議会 (BCSEA : Bhutan Council for School Examinations and Assessment) は、クラス-Xおよびクラス-XIIに対して、国家試験を行う。クラス-IIIおよびクラス-VIに対しては、BCSEAは、試験問題、模範解答例、および採点方式を提供するが、実際の試験は各学校によって実施、および成績評価される。

表 2.1 一般教育カリキュラム表 (教育統計2019年)

	科学	商業	人文	技術&職業教育	RIGZHUNG
学年 XI-XII	必修科目 ゾンカ語 英語	必修科目 ゾンカ語 英語	必修科目	必修科目 ゾンカ語 英語	必修科目 ゾンカ語 英語 <i>Chenju, Suntag, K-jur,</i>
年齢 17-18	コア科目 物理 化学	コア科目 商業 会計 ビジネス数学	選択科目(3 - 4) 地理, ビジネス 数学, ICT 歴史, <i>Rigzhung</i> 職業科目 起業家精神教育	選択科目 いくつかの職業科目から3科目を選択	<i>Ngengag</i> 選択科目(1) <i>Gyalrab, Tshi</i>
	選択科目 (1) 生物, 数学, ICT 経済, 技術職業教育科目 起業家精神教育	随意科目 IICT, 経済, <i>Rigzhung</i> 職業教育 起業家精神教育		随意科目 (1) ICT, 実用数学 経済 起業家精神教育	随意科目 (1) <i>Nencha</i> (音楽) 技術職業教育
	必修科目であるが、評価はしない。 保健体育 道徳/価値観/仏教教育			必修科目であるが、評価はしない。 保健体育 道徳/価値観/仏教教育	
学年 IX-X	能力別編成 コア科目				<i>Rigzhung</i> ゾンカ語, 英語
年齢 15-16	ゾンカ語, 英語, 数学, 科学 (物理, 化学, 生物), 歴史と公民, 地理 選択科目 道徳/価値観/仏教教育, ICTリテラシー, 音楽教育, 視覚芸術, メディア教育, 技術職業教育科目, 国際言語保健体育, 道徳/価値観				<i>Khordey Lam Sum, Ngagroen Nyer- Khoi-Nam Shed, ka Ned Selwai Melong</i> 選択科目 職業科目, 音楽教育 ICTリテラシー, 技術職業訓練科目, 国際言語
学年 VII-VIII 年齢 13-14	コア科目 ゾンカ語, 英語, 数学, 科学, 歴史と公民, 地理	選択科目 道徳/価値観/ICTリテラシー, 音楽教育, 視覚芸術, メディア リテラシー, 技術職業訓練オリエンテーション, 保健体育, 仏教教育			

学年 IV-VI 年齢 10-12	コア科目 ゾンカ語, 英語, 数学, 科学, 社会 選択科目 道徳/価値観/仏教教育, ICTリテラシー, 音楽教育, 視覚芸術, メディアリテラシー, 技術職業訓練オリエンテーション, 保健体育				
学年 PP - III 年齢 6-9	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">コア科目</td> <td style="width: 50%;">選択科目</td> </tr> <tr> <td>ゾンカ語, 英語, 数学</td> <td>保健体育, 道徳/価値/仏教教育</td> </tr> </table>	コア科目	選択科目	ゾンカ語, 英語, 数学	保健体育, 道徳/価値/仏教教育
コア科目	選択科目				
ゾンカ語, 英語, 数学	保健体育, 道徳/価値/仏教教育				

注記：上記の学校教育で使われている科目分類は動的であり、社会的必要性和時代によって、科目は変化す可能性がある。

翻訳者注：上記の表で、科目名または、科目分類名として使われているRigzhungは、ゾンカ語でブータンの伝統的な文化を意味し、その授業では、ゾンカ語が使われる。表において、ゾンカ語で挙げられている科目名の意味は、以下に示す。 Rigzhung：文化, Chunnju：菩薩道入門, Nyalrab：伝統的な詩歌, Gyalrab：歴史, Sumtag：チベット語とゾンカ語の文法, Tshi：暦学, Neucha：音楽, K-jur：仏教の教え, Khordey Lam Sum：哲学, Ngagdroen Nyer-Khoi-Nam Shed：仏教のお経や教説に関する辞典, Ka-Ned Selwai Melong：チベット語やゾンカ語の時制の表現に対する文法